

平成 23・24 年度 土木学会複合構造委員会 第 6 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 24 年 3 月 10 日(土) 9:00～12:00
2. 場 所：リーガロイヤルホテル新居浜 2F 松の間
3. 出席者：杉浦委員長，島副委員長，西崎幹事長，池田幹事，大垣幹事，大山幹事，葛西幹事，斉藤幹事，下村幹事，武知幹事，広瀬幹事，古市幹事，松本幹事，溝江幹事，渡辺幹事，竹原事務局員
(欠席者：奥井幹事)
4. 配布資料
資料 幹6-0 第 6 回複合構造委員会幹事会議事次第
資料 幹6-1-1 第 5 回複合構造委員会幹事会議事録(案)
資料 幹6-1-2 第 2 回複合構造委員会議事録(案)
資料 幹6-2 予算執行状況
資料 幹6-3-1 第 4 回FRP複合構造・橋梁シンポジウム準備状況
資料 幹6-3-2 論文集特別号関連
資料 幹6-4 研究討論会について
資料 幹6-5-1 複合構造レポートの査読について(レポート05)
資料 幹6-5-2 複合構造レポートの査読について(レポート06)
資料 幹6-6 出版関係
資料 幹6-8-0 小委員会一覧
資料 幹6-8-1 H101示方書委員会
資料 幹6-8-2 H104震災調査小委員会
資料 幹6-8-3 H206ずれ止め小委員会
資料 幹6-8-4 H207樹脂材料による複合技術研究小委員会
資料 幹6-8-6 H209FRPによるコンクリート構造の補強設計研究小委員会
資料 幹6-8-8 H211FRPと鋼の接合方法に関する研究小委員会
資料 幹6-9 H24ジョイントセミナー募集案内
資料 幹6-10 平成24年度「重点研究課題(研究助成金)」申請書
資料 幹6-11 調査研究委員会活動度評価要領の見直し、およびJSCE2010 実施状況に関する調査研究部門自己評価簡素化の提案の検討依頼書
資料 幹6-12 調査研究拡充支援金の算定方法の見直しの検討依頼書
資料 幹6-13 第8回複合・合成構造シンポの論文公表について

5. 議事内容

(0) 委員長挨拶

幹事会開催にあたり，杉浦委員長より挨拶があった。

(1) 平成 23・24 年度 第 5 回複合構造委員会幹事会議事録の確認(資料 幹 6-1-1)

斉藤幹事より，前回幹事会の議事録(案)が読み上げられ，一部修正の上，承認された。

指摘事項：出席者に，複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会(H206)の中島委員長を追加する。

(2) 第2回複合構造委員会議事録の紹介 (資料 幹 6-1-2)

武知幹事より、第2回複合構造委員会議事録(案)が紹介され、一部指摘があった。
指摘事項：(16)□4行目（一小委員会の活動期間の延長を検討している一）に修正

(3) 予算執行状況について (資料 幹 6-2)

西崎幹事より、竹原事務局員作成の H23 年度予算執行状況について説明があり、各小委員会の H23 年度内(3月30日まで)の執行予定を確認した。竹原事務局員より、請求はなるべく3月16日までに、3月16日以降の執行は3月末までに請求するよう依頼があった。また、西崎幹事より来年度も計画的な支出を行うよう依頼があった。

(4) 第4回FRP複合構造・橋梁シンポジウム準備状況について(資料 幹6-3-1)

溝江幹事より、第4回FRP複合構造・橋梁シンポジウム準備状況について説明があった。主な検討課題であるFRP実物模型等の展示などは、3月30日の複合シンポジウム小委員会で議論することを確認した。

(5) 論文集特集号関連 (資料 幹 6-3-2)

大山幹事より、『複合・合成構造の活用に関するシンポジウム』および『FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム』に投稿した論文の土木学会論文集 A1 特集号(複合構造)への掲載条件について説明があった。資料 幹 6-3-2 は、第2回複合構造委員会で議論した資料と異なり、地震工学委員会での掲載条件に沿って新たに作成したものである。この内容はシンポジウム小委員会論文WGでの議論が未了のため、私案として説明があった。主な意見は下記のとおり。

- ・ 2011年の地震工学シンポジウムで投稿された論文数170に対し、特集号に掲載されるのは120である。例年の複合シンポジウムに当てはめれば、土木分野で投稿された論文数20～30に対し、特集号に掲載されるのは15程度になる。
- ・ 資料に記載の(5)について、再査読をしないものは論文集の論文として認められないはず。
- ・ 特集号の理念は以下2通りが考えられる。
 - ① 論文数が少なくても質の高い、いい論文を掲載する。
 - ② 発刊を目的とし、なるべく論文数を多くする。
- ・ 一般会員は特集号と通常号の違いを区別できない。両者にレベルの差があるとすれば、一般会員を裏切ることにならないか。
- ・ 学位の取得に際し、土木学会論文集への掲載数が条件となる場合が多いが、特集号と通常号の取り扱いについては、大学や学位の主旨により異なる。なお、特集号は期間限定であり、通常号に比べて投稿し、掲載されやすいというメリットがある。
- ・ 論文タイトルの改変を認めると、内容が変わる可能性があり、査読者がそれを見極める必要がある。
- ・ 地震工学委員会の査読要領が公開されているので確認した方がよい。
- ・ 特集号の値段は自由に決められないはずである。他に比べて安い気がする。
- ・ 特集号に掲載する論文は、シンポジウムの座長等が推薦した方がよい。
- ・ 土木学会論文集編集委員会では、特集号は英語のみが原則であった。しかし、日本語の場合は各委員会の管理に委ねられたため、通常号とのダブルスタンダードになり、特集号の論文と通常号の論文にレベルの差が出ているが、時間をかけてすりあわせて行くということになっている。したがって、論文集編集委員会は、特集号だからといってレベルを下げる方向でないことは確認している。
- ・ 複合構造委員会幹事会としては、特集号の理念は、前記の方針(論文数が少なくても質の高い、

いい論文を掲載する)としたい。最終的には複合構造委員会で審議する必要がある。3月30日のシンポジウム小委員会で議論した上で、次回の幹事会でも議論する。なお、6月ぐらいには決定する必要がある。

(6) 研究討論会について(資料 幹 6-4-1～6-4-2)

西崎幹事長より、H24 全国大会の研究討論会について、今までの各小委員会の活動状況から H209 小委員会を担当とする提案があった。研究討論会の中では、H209 の成果報告として話題提供してもらえればよいと渡辺幹事より H209 小委員会に報告することになった。なお、共通セッションを先にやり、その後研究討論会という流れにしてもらうよう、複合構造委員会から土木学会事務局に要望することになった。

(7) 複合構造レポートの査読について(資料 幹 6-5-1～6-5-2)

(レポート 05)

広瀬幹事より、当日配布の資料(幹 6-5-1)をもとに説明があり、本レポートに対するチェックの仕方と単純ミスを報告し、本レポートは FRP 補修補強の事例紹介であり、特に問題ないと報告があった。

渡辺幹事より、技術的に問題のある箇所があると思われるとはいえ、現場への適用事例ということで問題なしとしたが、出典を明らかにした上で出版するべきであると報告があった。

古市幹事より、上記両幹事の報告を踏まえ、下記の提案があった。

- ・本レポートは、技術の紹介、今後の課題が書かれ、レポートとしてはよい。表現の不適切な点は指摘事項として H211 委員会に渡す。
- ・まえがき、委員名簿、あとがきに関して、本レポート 1 ページ目に H205 委員会の鈴木委員長のまえがきがあり、その後に H205 委員名、H211 の委員名簿、目次と続いていて、一番後ろに H211 委員長のあとがきがある。この構成だと、本レポートは H205 が出したものと見えるが、今回は H211 委員会の活動成果として公表するものであり、執筆者一覧においても H211 の参加者が多数で新委員がほとんどである。以上のことから、H211 が主体である構成とするべきであり、H211 の現委員長によるまえがき（前委員長の意向を含めて現委員長によるもの 1 つのみ）、H211 委員名簿、H205 委員名簿の順とするべきである。まえがきでは、H205 で何をやって、何を H211 に引き継いだかを書くのがよい。上記および細かい指摘をつけて通読見解書として大垣連絡幹事を通じて H211 委員会に伝える。

これらの提案を踏まえ、主な確認事項は下記のとおり。

- ・幹事会からの意見として、上記について H211 委員会に伝えるとともに、記載方法を調整する(大垣委員)。
- ・上記の修正が適切に実施されることを条件として、出版することとする。
- ・なお H205 の成果は、H205 の中で作成済みの報告書をもって既に完了していると考えてよい。

(レポート 06)

武知幹事より、レポート 06 の通読結果(資料幹 6-5-2)について報告があった。修正点はあるものの、総じて大きな問題点はなく出版することを確認した。

主な意見は次のとおり。

- ・NETIS のホームページをそのままはりつけているものがあり、客観性がないことから、修正を求める。著作権上も問題であるため、引用の出典先を明確にするなどの対応が必要である。
- ・商品名は一般名称にする。なお、一般名称にすることにより不確かな情報提供になる可能性があるという指摘があるものの、材料は一般名称とし、工法は、極力一般名称にする予定である。

(8) 出版関係(資料 幹 6-6)

武知幹事より、販売状況の報告があった。複合構造シリーズ S01 の残部 48 部の対応について議論された。複合構造標準示方書小委員会で活用し、残ったら考えることとなった。その他意見は下記のとおり。

- ・複合構造委員会で購入した 3 部、英文版も忘れずに示方書委員会で活用してもらうように。
- ・学会の講習会の受付に書籍を積んでおいてもよい。(無料配布) 5/27 の講習会で実践してもよい。

その他、500 部以下で出版する可能性について質問があったが、メリットがなく最低 500 部で原価回収するのがスタンダードであると説明があった。また、カラーページにした場合の増額について検討中と説明があった。

(9) 小委員会報告審議事項について(資料 幹 6-8-0～6-8-4, 6-8-6, 6-8-8)

西崎幹事長より、新しい小委員会の設立依頼および受託委員会の件について、次回幹事会で議論予定であるとの説明があった。(資料 幹事 6-8-0) 各小委員会の報告は下記のとおり。

複合構造標準示方書小委員会 (H101)(資料 幹 6-8-1)

渡辺幹事より、活動状況が報告された。第 2 回小委員会では、複合構造示方書を設計編、維持管理編、施工編として作成することとし、改訂方針、技術的改題について議論を行ったと報告があった。4 月以降に各編ごとに WG で議論を開始予定と説明があった。

東日本大震災被害調査小委員会 (H104)(資料 幹 6-8-2)

渡辺幹事より、調査報告書(案)(資料 幹 6-8-2)に基づき、活動状況が報告された。今後は小委員会幹事会で進め方を議論予定と説明があった。

樹脂材料による複合技術研究小委員会(H207) (資料 幹 6-8-4)

大垣幹事より、「樹脂材料による複合技術最先端」および「FRP 接着による鋼構造物の補修・補強技術の最先端」講習会(東京)の同時開催、「樹脂材料による複合技術最先端」講習会(札幌)の開催のプログラム案及び行事計画書の説明があった。なお、「FRP 接着による鋼構造物の補修・補強技術の最先端」講習会の札幌開催はないと事前確認しているとの説明があった。

大垣幹事が今年度をもって辞任するため、現在連絡幹事を務める、樹脂材料による複合技術研究小委員会(H207)、FRP と鋼の接合方法に関する研究小委員会(H211)の交代要員を選定する必要があると説明があった。

H207 小委員会は前述の講習会で終了となるので、次回の複合構造委員会で上田先生から報告していただくよう、大垣幹事から連絡することになった。

FRP 複合構造研究小委員会(H208)

西崎幹事長より、次回幹事会で一期延長の報告を行う予定と説明があった。

FRP によるコンクリート構造の補強設計小委員会 (H209)

渡辺幹事より、(6)研究討論会に関する内容を本幹事会の意見として、H209 小委員会に事前に西崎幹事長から連絡するよう依頼があった。

(10) その他 H24 ジョイントセミナー募集案内 (資料 幹 6-9～6-13)

西崎幹事長より、資料 幹 6-9～6-13 に関して報告があった。

- ・来年度以降、ジョイントセミナーに応募を希望する際には、資料 幹 6-9 のような制度の利用も検討に入れることができるとの説明があった。

- ・平成 24 年度「重点研究課題（研究助成金）」に『土木建造物の持続性を考慮した 300 年プロジェクトに関する研究』を申請した旨，報告があった。（資料 幹 6-10）また，本研究が採択されれば，企画 WG での検討を踏まえ，新たに小委員会を設立することになるとの説明があった。
- ・調査研究委員会活動度評価要領の見直し，およびJSCE2010 実施状況に関する調査研究部門自己評価簡素化の提案について，資料 幹6-11に則りH24年度より実施していく旨，報告があった。
- ・調査研究拡充支援金の算定方法の見直しについて，意見照会の依頼があった。（資料 幹 6-12）
- ・第 8 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムは共催した建築学会側の運営であり，シンポジウムの発表論文の土木学会 HP での一般公開について建築学会に打診中であるが，著作権の問題もあり一般公開が難航する可能性があるとの報告があった。（資料 幹 6-13）

(11) その他

独日橋梁シンポジウムについて

杉浦委員長より，独日橋梁シンポジウムが 9 月に京都で実施されるにあたり，複合構造委員会として後援してはどうかという提案があった。後援は複合構造委員会の活動度に評価されることもあり，正式にシンポジウムの実行委員会から複合構造委員会に後援依頼の文書を出してもらうことになった。

第 7 回幹事会

後日メールで日程調整を行う。

以 上
(記録・文責 広瀬)